

瑩山禪師の教えを中心に、一年を振り返って

加茂法話会 令和六年三月二十六日

一、永平寺御開山道元禪師 一一〇〇～一二五三

總持寺御開山瑩山禪師 一二六四～一三二五 今年、七〇〇回大遠忌

二、二十二歳にして聞声悟道す。二十五歳にして観音の如く、大悲闡提の弘誓の願を發す。

□大悲：仏・菩薩の広大な慈悲。

□闡提：闡提は涅槃に入らず転生を繰り返し、一切衆生が悟りを得るまで修行をすることを誓った観音など菩薩のありようを指す。

三、縦使、難値難遇の事有るも、必ず和合和睦の思いを生ずべし。

四、NHKスぺシャル「祖父はユダヤ人を救ったくガザ攻撃と「命のビザ」」

外交官・杉原千畝（1900～1986、86歳）とその孫・まどか（NPO杉原千畝命のビザ）（千畝の功績を讃えるNPO）副理事長）

奇跡的に救われたワルシヤワに住むエルジビエタ・フィツオスカさんの話  
「ガザなどでこども達が殺されるのを見て非常に心が痛みます人間は誰のことも殺してはいけません。暴力や殺人を正当化する理由はないのです」  
五、瑩山禪師の遺偈

自耕自作閑田地

みずか たがや つく かんでんち  
自ら耕し自ら作る閑田地

幾度売来買去新

いくたび うり きた か かって あら  
幾度か売り来り買い去って新たなり

無限靈苗種熟脱

かぎ な れいびよう たね じゆくだつ  
限り無き靈苗、種は熟脱す

法堂上見挿鋤人

はつどうじょう くわ さしはひ  
法堂上に鋤を挿む人を見る

■その意味は

「農家の方が田畑を耕すように私は自ら土を耕し自ら仏法の田（仏性）を開いてきた。そして、懸命に教えを広めたり伝えたりして、仏法の田を広げてきた。いつしか苗の種が実り、多くの弟子たちが熟した。お寺の本堂で一生懸命に教えの鋤を振るっている弟子たちが見える」。

東龍寺住職 渡邊宣昭 合掌